

黒木大將と英國の小兒

鴨綠江の大戦争からして、黒木大將の名は、全世界に轟き渡りましたが、わけて、英吉利では、大



變に聞こえて居ます。其證據には、先日、英吉利のある子供から、次の様な手紙を大將によこしましたといふことです、なんと可愛い、じやありませんか、

せんか、

親愛なる黒木大將閣下

私は八歳の英國の小供であります、

閣下が鴨綠江で露兵をあんなに驅い目に合はせましたのを見て、大層喜んで居ります。英國の子供は、みんな日本の味方であります、私は日本の郵便切手と端書が欲しいのであります、父上の申しますには、私が閣下下手紙をさし上げてお願するならば、私に送つて下さるでせうと、どうぞ、私のお願をおかなへ下さい

五月六日 エッセックス、イルフチルド、ノ

一 スブルック ロード 五二番

エットキン、ホケン

あんなに、豪い大將も、この可愛い、手紙をお喜びになつて、陣中であとりになつた大將のお寫眞に手紙をそへて、其子供に送られたといふことであります。

英國の小兒の恤兵金

これは、ロンドンの新聞に出たお話ですが、或日英吉利のロンドン正金銀行へ、一人の英吉利の小供がやつて来て、「私は、小學校生徒の總代として來ました」といつて、金を十圓さし出して、「これは私兵が、日本の勇氣ある陸海軍の兵士に贈らうといつて、學校内で、一錢二錢づゝ集めたお金ですから、どうか、こちらから、日本の兵隊さん

